

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力で書き込んで下さい。

(一財) 全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2021年7月26日
派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書 (2日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	大津市企業局	代表者名	山極 正勝
担当者部署	企業局	連絡先電話番号	077-528-2921
担当者役職	主査	担当者氏名	早瀬 薫
住所	520-8575 滋賀県大津市御陵町3番1号		

1-2. 推薦団体 (「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

団体名	連絡先部署	連絡先電話番号	連絡先E-mail
担当者氏名			

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	森戸 裕一
評価	大変よい
上記評価の理由 (どのようなところがよかったか等詳細に)	本市の参加者からの意見や感想、疑問について、具体的なアドバイスや事例等の紹介をいただいた。
アドバイザーへの要望事項	特になし

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間 (分)	活動時間 (分)
3-1. 活動	2021年7月20日	15時00分	17時00分		120
	派遣形態	講演 (オンライン)			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="checkbox"/> 掲載可
------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性 (職員、一般、企業等) について【自由記述】	人数
	イノベーション戦略室及び企業局の職員	19 人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)	DXや働き方改革を進めていく上で、これらの取り組みに対する職員の意識の温度差が大きく、これまで通りの業務の進め方から脱却が難しい。	
支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	職員一人ひとりがDXや働き方改革の必要性を認識し、自らBPRや業務の効率化に取り組むことで、職員の満足度と市民サービスの向上を目指す。	
アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	1日目の支援を受けて、各参加者に「取り組んだこと」や「取り組もうとしていること」などを事前に準備するよう依頼し、当日はこれらについて、森戸先生とディスカッションを行った。参加者が取り組んでいる内容や抱えている疑問について、個別に具体的なアドバイス等をもらった。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	1回目に引き続き参加した職員については、それぞれの意見を発表してもらいアドバイスを受けられたことから、フォローアップやブラッシュアップにつながった。今回初めて参加した職員には、デジタル推進室以外の業務担当課職員が多くいたが、これらの職員に対してもDXの考え方・取り組み方の理解を進めることができた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特になし	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 別紙のとおりです	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	⑤その他
事業の最終的な目指す姿	今回のアドバイスの内容等を基に今後も継続して取り組み、職員の意識醸成とDX・働き方改革・広報戦略の推進を図っていく。	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

